

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-34307(P2020-34307A)

【公開日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2020-009

【出願番号】特願2018-158754(P2018-158754)

【国際特許分類】

G 0 1 M	99/00	(2011.01)
G 0 1 N	33/38	(2006.01)
G 0 8 B	25/04	(2006.01)
G 0 1 N	17/00	(2006.01)
G 0 8 C	17/00	(2006.01)
G 0 8 C	15/00	(2006.01)

【F I】

G 0 1 M	99/00	Z
G 0 1 N	33/38	
G 0 8 B	25/04	Z
G 0 1 N	17/00	
G 0 8 C	17/00	Z
G 0 8 C	15/00	E

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月14日(2021.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造物の状態を検知可能な検知部と、

前記構造物に設けられ、前記検知部による計測値に基づいて当該検知部から出力された検知信号が入力されると共に、当該検知信号に基づいて第1信号を出力可能な第1集積部と、

前記構造物に設けられ、前記第1信号を入力可能とされると共に当該第1信号に基づく第2信号を出力可能な第2集積部と、を備え、

一つの前記第2集積部には、複数の前記第1集積部が接続されていると共に、当該第2集積部は、前記構造物の長手方向又は当該構造物の短手方向に複数配置されて、互いに前記第2信号を入出力可能とされている、

構造物の点検システム。

【請求項2】

蓄積されたデータから求められたパラメータと前記計測値とに基づいて前記構造物の状態を推定可能な状態推定部が、前記第2集積部を含んで構成されている、

請求項1に記載の構造物の点検システム。

【請求項3】

前記第2集積部のそれぞれには、報知部が電気的に接続されており、

前記状態推定部は、前記構造物において異常が発生していると推定された箇所の前記検知部を特定可能とされていると共に、当該構造物に異常が発生していると推定された場合

に、当該検知部からの前記検知信号に基づく前記第1信号が入力される前記第2集積部に電気的に接続された前記報知部を作動可能とされている、

請求項2に記載の構造物の点検システム。

【請求項4】

前記報知部は、前記状態推定部で前記構造物に異常が発生していると推定された場合に、前記第2集積部から電力を供給されて発光する発光部とされている、

請求項3に記載の構造物の点検システム。